

# 令和元年度事業報告

## はじめに

全業種で人手不足状態になっており、労働需給は逼迫した状況が続く見込みとされています。また、高齢期の経済的安定をどのように図るか社会的な課題になっています。ただ現役時代と同じように就業できる高齢者は少数です。シルバー人材センターは、高齢者に「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業」を提供する組織です。多様な形態で高齢者の就業機会を確保し、安全・安心な事業を実施することによって、福祉向上と地域活性化に貢献できるように精進してきました。

センターのPRも兼ねて保育園や幼稚園等で、草刈り・窓ふき・清掃などの「ボランティア活動」や「うどん作り教室」などの独自事業も積極的に行いました。事業規模は少ないですが町と締結した空き家の適正管理のための協定を確実なものにするため町と相互に連携・協力し、町内の空き家等の適切な管理を進めています。「いつになっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたい」そんな思いを支え合うサポーターを目指し、介護等の生活支援が一体的に提供されるケアシステムの一員として参画している介護予防・日常生活支援の事業（通称 シルバーえぷろん）における生活支援サービスが少しずつですが事業拡大ができています。また、安定的な財政運営のためにさらなる経費の削減を図ることに努力してまいりました。しかしながら定年延長等の社会状況の変化による新規会員の減少、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により今後の経済状況の不透明感もあり、センターにとっても厳しい状況が続いているのも事実です。

契約金額と会員の確保の目標を定めた「第1次中期計画」を策定し常に検証しています。目標値に達していない項目があるため、期間を令和2年度末まで1年間延長し、次期の「第2次中期計画」の策定に向けて内容を精査しているところです。今年度は契約金額では288,432,468円（内派遣事業17,760,164円）となり、平成30年度と比較して6,938,738円の増額となりました。会員数は14人減少の506人となりました。契約金額の増額は、適正就業の定着によるものの他、就業を通じて健康の保持と生きがいを求める会員に寄り添い、事業の安定に期した成果と考えていますが、会員の入会促進による人手の確保が今後の最重要課題であります。

## 事業推進実績状況

### 1. 就業に関する情報の収集及び提供

センターに活力を与え発展する源として会員の増加と就業の場の拡大が必要不可欠であるため次の事業を実施した。

(1) 兵庫県、稲美町、播磨町、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会(兵シ協)その他関係団体等を通じて情報を収集し、これを会員に提供して事業を推進した。

① 近畿シルバー人材センター連絡協議会主催

定期総会及び管内役員研修会に参加 6/18

② 兵庫県シルバー人材センター協会主催

- 1) 総会及び役員研修会に参加 6/13
- 2) 新任役員・事務局長研修会に参加 7/25
- 3) 事務局長会議に参加 4/23・10/16・2/5
- 4) 監事研修会に参加 7/23
- 5) 事業推進大会に参加 10/30
- 6) 派遣事業実務担当者研修会に参加 12/26・1/17
- 7) 決算事務研修会に参加 2/4
- 8) 経理担当職員研修会 2/7

③ 兵シ協東播ブロック会議に参加 6/20 (高砂市)・9/17 (三木市)・2/6 (小野市)

④ 隣接シルバー人材センター広域連絡理事長会議に参加

8/30 (明石市)・2/27 (神戸市)

(構成 神戸市・西宮市・芦屋市・明石市・加古川市・加古郡広域の6センター)

⑤ 中播広域シルバー人材センターと意見交換会 12/9

⑥ 四国中央市シルバー人材センターと意見交換会 1/28

⑦ 兵庫県関係団体運営基礎研修会に参加 4/16

⑧ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」及び、  
他市町シルバー人材センターの「会報誌」等による情報の収集

(2) 一般家庭、民間事業所、公共団体等からの就業に関する情報の収集を行った。(随時)

(3) 特色ある記事の掲載や、多く会員からの寄稿を取り入れるなど内容を充実した会報誌「シルバーだより」第66号を10月下旬に、第67号を2月下旬に年2回発行した。

(稲美町 10,750部・播磨町 12,550部)

(4) 事務局通信を随時発行した。

(5) 入会説明会等の情報を町発行の広報誌に毎月掲載した。(播磨町)

## 2. 就業相談等の実施

地域における働く意欲のある高齢者に適正な就業や能力向上のための事業を実施した。

(1) 毎月1回の入会説明会等を通じて入会の促進と適正就業相談を実施

① 稲美町支部・播磨町支部がそれぞれ別会場で、同日2か所を実施

(2) 未就業会員に対するミスマッチ等解消のため随時就業相談を実施

## 3. 就業機会の開拓及び提供

センターの趣旨及び事業の目的や内容などの周知を図り行政機関や民間事業所各方面に理解を得ながら仕事の開拓に努めた。

(1) 一般家庭・民間事業所・公共団体等への開拓及びPR活動等を実施

(2) センターの認知度を高め理解を得るために、独自事業に取り組み就業機会を拡大

- ① 粕漬加工
- ② もち加工
- ③ 麦あめ・かりんとうの製造
- ④ 竹細工教室の開催 毎月第1・3水曜日
- ⑤ パソコン教室の開催 毎月第2・4火曜日
- ⑥ うどんづくり教室の開催 毎月第1・3月曜日
- ⑦ 絵画教室の開催 毎月第1金曜日
- ⑧ 就学前の幼児一時預かり(認可外保育施設「託児所幼児安心ルーム」)

4/5・11/28・3/18・3/30・3/31

- (3) 常にワークシェアリング・ローテーションに取り組み、基本理念とする「共働、共助」の具現化に努め「公平な就業機会」を確保
- (4) 掲示板等を活用して、就業情報の提供
- (5) 会員一人ひとりが就業開拓員として、身近なところから就業を拡大
- (6) 退会会員の減少を図るため高齢会員等の就業のあり方や新たな会員制度などの調査・検討
- (7) 介護予防・日常生活支援等の事業(シルバーえぷろん)で生活支援サービスに取り組み、就業機会を拡大(播磨町支部)
- (8) 空き家の適正管理の促進に関する町との協定締結に伴い、空き家等の適切な管理を進めることにより、良好な生活環境の保全及び安全で安心な「まちづくり」の推進に寄与(播磨町支部)
- (9) 稲美町ふるさと納税返礼品として墓参代行サービス・空き家見守りサービスの提供

#### 4. シルバー派遣事業の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業の実施事業所として公共団体等各方面に本事業の趣旨等を説明し、理解を求め就業機会の拡大を行った。

#### 5. 有料職業紹介事業

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として適切・確実な有料職業紹介に取り組んでいるが、今年度は実績なし。

#### 6. 技能研修及び講習会の実施

親切・丁寧な仕事は、センターの事業推進にはなによりも大切なことで会員のマナーや技能の向上が必要であり、引き続き講習会等の開催に努め充実を図った。

- (1) 就業先でのマナーによるトラブルの未然防止を図るため、接遇講習会の開催

5/9・2/20・2/27・2/28・3/25

- (2) 会員の技能の向上及び就業意欲の高揚を図るため、技能研修会等の開催

①草刈機等の安全使用講習会 5/15

- ②剪定班職群別会議 6/21・8/2
  - ③草刈班職群別会議 6/21・8/7
  - ④除草班職群別会議 8/9
  - ⑤加工食品講習会（JA 主催）6/21
- (3) 就業時に発注者から苦情等があった場合は、即、実情を調査するとともに、納得できる適切な対応をより速やかに実施（随時）
- (4) 介護予防・日常生活支援サポーター養成研修に参加し、高齢者の介護予防や生活支援に関わる基礎知識を向上 10/29

## 7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会の充実と会員の安全・適正就業の推進に努めた。

- (1) 安全・適正就業推進委員会の開催 7/4 10/10  
兵シ協 安全・適正就業推進委員会訪問指導 10/17
- (2) 会員の就業環境や就業状況を確認するため、安全・適正就業推進委員会委員による「安全パトロール」を実施
- ① 稲美町支部委員 7/17（播磨町支部を巡視）・7/24（稲美町支部を巡視）
  - ② 播磨町支部委員 7/26（稲美町支部を巡視）・7/29（播磨町支部を巡視）
- (3) 安全就業の一層の推進を図るため、作業責任者は腕章をつけ、現場での内容確認の徹底と会員への周知を図り、危険と判断する就業は引き受けないなど安全な作業の実施
- (4) 交通安全意識を徹底するため、警察署の協力を得て、交通安全講習会を実施 6/14・11/18
- (5) 命を守る一環として及び緊急時に備えるため、消防署の協力を得て、普通救命講習会（心肺蘇生・AED 取扱）を実施 2/12 防災訓練を実施 7/29
- (6) 就業中に交通事故を起こさない取り組みの一つとして、センターの自動車運転に係る会員の自動車運転適性検査の受講 1/27・1/29
- (7) 安全就業推進の運動として「安全標語」の募集 6/12～6/28  
最優秀作品 1 点 優秀作品 7 点を選定し活用

## 8. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの仕組みや事業内容について未だによく理解が得られていない面があることから、各家庭や各種団体等に広く周知を図る事業を展開した。

- (1) 会報誌「シルバーだより」を年 2 回発行し、稲美町・播磨町内の全戸に配布し情報の発信を行い、また理事が中心となつての会員の確保や就業の拡大
- (2) シルバー人材センターの PR 活動
- ① 口コミによる会員募集を随時実施
  - ② 町の広報に会員募集の記事を掲載
  - ③ 入会説明会を実施 4/24・5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/28・12/25・1/22・

2/26・3/25

- ④ 兵シ協事業推進大会に出展 10/30
- ⑤ 夏休みこども勉強教室 7/22～7/30
- ⑥ トライやる・ウィーク受け入れ  
稲美町支部 6/3 から 5 日間、播磨町支部 5/27 から 5 日間
- ⑦ 生活支援（施設・訪問介護）スキルアップ講習会 8/1・8/2・8/5
- ⑧ 近隣シルバー人材センター等へ正月用もちの販売 12/26
- ⑨ 全国シルバー人材センター事業協会「会報誌」月刊「シルバー人材センター」  
を公共施設に配布

## 9. 事務事業等の見直し

センターの運営が厳しい状況となりつつあることから引き続き事務事業の見直しを図り、会員・役員・職員が一体となって組織の充実発展に取り組んだ。また、税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、適正化を図っている。

## 10. その他の事業

多様な形態での高齢者の就業機会を確保するため安全・安心な事業を推進し、会員の資質向上及び地域の方々に親しまれるセンターを目指し事業展開した。

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、日帰りバス旅行の実施  
稲美町支部 10/26（京都府南丹市） 播磨町支部 11/9（岡山）
- (2) 会員に健康管理に関する情報の提供と“自分の命は自分で守る”をモットーに、  
健康診断等の受診の勧奨、健康相談の実施（毎月第2木曜日）
- (3) イベント等へ積極的に参加し独自事業の展示・即売のほかセンターのPRや会員の確保
- (4) 情報開示については、より適正化を図るとともに個人情報の厳格化を徹底
- (5) 理事会の活性化を図り、理事による主体的な活動の実施  
理事会の開催 5/8・5/28・7/30・12/3・3/18（書面決議）
- (6) 専門委員会としての安全・適正就業推進委員会の開催 7/4・10/10  
広報委員会の開催 8/22・9/19・12/10・1/8  
総務委員会の開催 1/15  
支部理事会の開催 6/21・12/7・12/8
- (7) 地域貢献と啓発活動の一環としてボランティア活動を実施  
幼稚園・保育園、子育て支援センターなどで、除草・清掃・ペンキ塗り等の作業を実施  
5/8・6/12・7/10・9/11・10/9・11/13・12/11・2/12  
年末一斉清掃（クリーンキャンペーン） 12/27
- (8) 仕事の満足度について、発注者の意思・感想の把握など常に意識した取り組みを実施
- (9) センターの健全な運営・適正就業のため、各種会議等の実施

- ① 総会の開催 5/28
- ② 監査の実施 平成 30 年度決算監査 4/24  
令和元年度中間監査 11/8  
令和元年度決算監査 5/1
- ③ 税務相談・指導 藤岡税理士 1回/月
- ④ 会員の月初め朝礼 毎月 1 日
- ⑤ 安全運転管理者総会 7/11
- ⑥ 派遣元責任者講習会 6/18
- ⑦ 職業紹介責任者講習会 12/13
- ⑧ 兵庫県公益法人検査 11/14
- ⑨ 兵庫労働局経理事務指導 11/27
- ⑩ 第 1 次中期計画検証委員会 2/28

令和元年度安全推進標語応募 最優秀作品

「安全は 急ぐな！あせるな！油断すな」

令和元年度安全推進標語応募 優秀作品

「慣れの作業に落とし穴 危険予知して事故防止」

「共同作業では 安全意識で 事故防止」

「危ないぞ 慣れた作業に 事故はまつ」

「慣れるほど 心引締め 油断せず」

「安全は 仕事終わって 帰るまで」

「気のゆるみ それが事故への 第一歩」

「慣れという 心のすきまに 事故おこる」

# 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金	81,560	93,589	△ 12,029
普通)JA兵庫南 天満支店	1,601,475	1,815,913	△ 214,438
普通)JA兵庫南 播磨支店1	21,953,155	23,638,836	△ 1,685,681
普通)JA兵庫南 播磨支店2	206,828	589,728	△ 382,900
普通)JA兵庫南 天満支店2	4,591,087	3,879,517	711,570
普通)但陽信金 本荘支店	2	2	0
(現金預金計)	(28,434,107)	(30,017,585)	(△1,583,478)
未収金	20,305,871	20,420,847	△ 114,976
立替金	2,900	0	2,900
前払金	145,820	140,376	5,444
<b>流動資産合計</b>	<b>48,888,698</b>	<b>50,578,808</b>	<b>△ 1,690,110</b>
2.固定資産			
(1)基本資産			
基本財産計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	16	17	△ 1
什器備品	13,328	17,770	△ 4,442
電話加入権	222,768	222,768	0
預託金	16,210	16,210	0
リース資産	6,308,150	0	6,308,150
<b>固定資産合計</b>	<b>6,560,472</b>	<b>256,765</b>	<b>6,303,707</b>
<b>資産合計</b>	<b>55,449,170</b>	<b>50,835,573</b>	<b>4,613,597</b>
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金	18,350,049	19,423,529	△ 1,073,480
預り金	65,055	532,672	△ 467,617
前受金	16,800	4,800	12,000
仮受金	5,500	0	5,500
賞与引当金	2,912,058	2,971,282	△ 59,224
一年以内返済予定リース債務	1,577,039	0	1,577,039
<b>流動負債合計</b>	<b>22,926,501</b>	<b>22,932,283</b>	<b>△ 5,782</b>
2.固定負債			
リース債務	4,862,533	0	4,862,533
<b>固定負債合計</b>	<b>4,862,533</b>	<b>0</b>	<b>4,862,533</b>
<b>負債合計</b>	<b>27,789,034</b>	<b>22,932,283</b>	<b>4,856,751</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1.一般正味財産			
一般正味財産合計	27,660,136	27,903,290	△ 243,154
<b>正味財産合計</b>	<b>27,660,136</b>	<b>27,903,290</b>	<b>△ 243,154</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>55,449,170</b>	<b>50,835,573</b>	<b>4,613,597</b>

# 令和元年度 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	270,672,304	265,631,888	5,040,416
受取配分金	219,440,911	216,182,085	3,258,826
受取材料費等	17,266,249	16,321,203	945,046
受取事務費	33,965,144	33,128,600	836,544
受取会費	1,198,000	1,223,000	△ 25,000
正会員受取会費	1,198,000	1,223,000	△ 25,000
受取補助金等	29,200,000	28,000,000	1,200,000
連合交付金	14,600,000	14,000,000	600,000
播磨町補助金	7,300,000	7,000,000	300,000
稲美町補助金	7,300,000	7,000,000	300,000
労働者派遣事業等受託収益	1,650,000	1,340,280	309,720
指定管理受託事業収益	20,606,434	19,091,045	1,515,389
雑収益	2,941,818	3,302,856	△ 361,038
受取利息	357	369	△ 12
雑収益	2,941,461	3,302,487	△ 361,026
経常収益計	326,268,556	318,589,069	7,679,487
(2) 経常費用			
事業費	317,035,768	310,174,167	6,861,601
支払配分金	219,440,911	216,182,085	3,258,826
支払材料費等	15,279,278	14,988,046	291,232
給料手当	35,070,406	32,831,621	2,238,785
臨時雇賃金	812,580	897,888	△ 85,308
法定福利費	6,207,788	5,788,763	419,025
退職金掛金	2,865,600	2,734,464	131,136
福利厚生費	143,495	136,350	7,145
旅費交通費	59,030	46,620	12,410
通信運搬費	927,070	919,506	7,564
減価償却費	4,442	4,442	0
会議費	0	8,152	△ 8,152
什器備品費	184,500	502,894	△ 318,394
消耗品費	1,312,335	1,177,276	135,059
修繕費	3,098,267	3,370,306	△ 272,039
印刷製本費	925,521	1,045,584	△ 120,063
光熱水料費	7,740,154	8,033,429	△ 293,275
賃借料	3,771,298	5,452,751	△ 1,681,453
保険料	3,833,950	3,624,584	209,366
諸謝金	0	0	0
租税公課	2,434,618	2,744,521	△ 309,903
支払負担金	0	0	0
委託費	7,876,564	6,065,459	1,811,105
町納付金	0	143,970	△ 143,970
支払手数料	32,241	34,428	△ 2,187
貸倒損失	18,999	26,211	△ 7,212
支払利息	80,964	0	80,964
リース資産減価償却費	1,577,038	0	1,577,038
賞与引当金	2,912,058	2,971,282	△ 59,224
雑費	426,661	443,535	△ 16,874



科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
管理費	9,475,941	10,664,550	△ 1,188,609
役員報酬	1,213,000	1,155,000	58,000
給料手当	4,072,845	5,112,300	△ 1,039,455
臨時雇賃金	90,285	99,764	△ 9,479
法定福利費	1,449,110	1,345,134	103,976
退職金掛金	662,400	629,616	32,784
福利厚生費	31,083	29,580	1,503
会議費	417,096	544,320	△ 127,224
役員等旅費交通費	11,740	7,520	4,220
旅費交通費	34,320	19,780	14,540
通信運搬費	192,825	196,200	△ 3,375
什器備品費	0	0	0
消耗品費	110,064	92,691	17,373
修繕費	1,944	0	1,944
印刷製本費	28,512	34,560	△ 6,048
光熱水料費	98,505	102,177	△ 3,672
賃借料	97,209	300,787	△ 203,578
保険料	26,100	26,100	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	210,182	264,929	△ 54,747
支払負担金	248,600	248,600	0
委託費	176,000	170,000	6,000
支払手数料	5,670	12,096	△ 6,426
雑費	298,451	273,396	25,055
経常費用計	326,511,709	320,838,717	5,672,992
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 243,153	△ 2,249,648	2,006,495
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 243,153	△ 2,249,648	2,006,495
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除売却損	1	5	△ 4
経常外費用計	1	5	△ 4
当期経常外増減額	△ 1	△ 5	4
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 243,154	△ 2,249,653	2,006,499
一般正味財産期首残高	27,903,290	30,152,943	△ 2,249,653
一般正味財産期末残高	27,660,136	27,903,290	△ 243,154
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
Ⅲ 正味財産 期末残高	27,660,136	27,903,290	△ 243,154

# 財 産 目 録

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	金額	場所 / 物量等	備考
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金(稲美町支部)	26,529	稲美町支部	運転資金(手元保管)
現金(播磨町支部)	55,031	播磨町支部	運転資金(手元保管)
普通)JA兵庫南 天満支店	1,601,475	JA天満支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店1	21,953,155	JA播磨支店	運転資金
普通)JA兵庫南 播磨支店2	206,828	JA播磨支店	運転資金(指定管理用)
普通)JA兵庫南 天満支店2	4,591,087	JA天満支店	運転資金(指定管理用)
普通)但陽信金 本荘支店	2	但陽本荘支店	商品券換金口座
(現金預金計)	(28,434,107)		
未収金(稲美町支部)	9,705,193	稲美町役場等77件	未回収事業収入
未収金(播磨町支部)	10,600,678	播磨町役場等144件	未回収事業収入
立替金	2,900	次年度役員賠償保険料	本人負担分立替
前払金	145,820	次年度保険等	会員傷害・賠償保険料等
<b>流 動 資 産 合 計</b>	<b>48,888,698</b>		
2.固定資産			
(1)基本資産			
基本)定期預金	0		
(2)特定資産			
減価償却引当預金	0		
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	13	稲美町支部 13台	公益目的事業に使用
車輛運搬具	3	播磨町支部 3台	公益目的事業に使用
什器備品	4	稲美町支部 4点	公益目的事業に使用
什器備品	13,324	播磨町支部 2点	公益目的事業に使用
電話加入権	222,768	稲美2回線 播磨1回線	
預託金	16,210	稲美1台 播磨1台	自動車リサイクル料
リース資産	2,994,537	稲美町支部	シルバーシステム借料
リース資産	3,313,613	播磨町支部	シルバーシステム借料
<b>固 定 資 産 合 計</b>	<b>6,560,472</b>		
<b>資 産 合 計</b>	<b>55,449,170</b>		
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金(稲美支部)	9,325,622	未払配分金等	
未払金(播磨支部)	9,024,427	未払配分金等	
預り金	65,055	役職員所得税 社会保険料等	
前受金	16,800	次年度会費前納分	
仮受金	5,500	作業代金過誤納分	R2年度作業時に相殺
賞与引当金	2,912,058	次年度職員賞与引当金	
一年以内返済予定リース債務	1,577,039		
<b>流 動 負 債 合 計</b>	<b>22,926,501</b>		
2.固定負債			
リース債務	4,862,533		
<b>固 定 負 債 合 計</b>	<b>4,862,533</b>		
<b>負 債 合 計</b>	<b>27,789,034</b>		
<b>III 正味財産の部</b>			
1.一般正味財産			
一般正味財産合計	27,660,136		
<b>正 味 財 産 合 計</b>	<b>27,660,136</b>		

公益社団法人加古郡広域シルバー人材センター 役員名簿

令和2年3月31日

理 事 長	星子 克己
副 理 事 長	井澤 新治
理 事	甲谷 克己
理 事	田中 勲
理 事	木暮 徹
理 事	宮本 竹男
理 事	福田 美佐子
理 事	畠 フミ子
理 事	田端 寿弘
理 事	梶原 好郎
理 事	川崎 康弘
理 事	大辻 明美
理 事	長谷川 康子
常 務 理 事	津村 道彦
監 事	吉田 邦子
監 事	宇佐美 隆史